

第二次筑紫野市地域福祉計画進捗状況表

令和 6 年度　まとめ

健康福祉部
生活福祉課 地域福祉担当

はじめに

筑紫野市では、令和3年3月に、「お互いが認め合い、支えあいながら、だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の基本理念のもと、「第二次筑紫野市地域福祉計画・地域福祉活動計画（改訂版）」を策定し、4つの基本目標を掲げ、住民主体の活動を軸に、地域福祉施策を展開してきました。

筑紫野市地域福祉計画等推進委員会では、筑紫野市地域福祉推進条例第31条に基づき、筑紫野市地域福祉計画の進行管理を審議しています。本書は、令和6年度の取り組みと成果指標の数値について取りまとめたものです。

目標体系図

お互いを認め合い、支えあいながら、だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり	基本目標	基本施策	指標数
	基本目標1 地域で支えあい、助けあう 仕組みづくり	1. 身近な地域での関わりを豊かにする	18指標
		2. 地域の声かけ・見守り活動を推進する	11指標
		3. 地域住民の活動拠点の整備と地区間 交流を推進する	9指標
	基本指標2 様々なニーズを受け止め、 支援するための仕組みづくり	1. 生活課題の発見と把握・対応のための 基盤をつくる	11指標
		2. きめ細やかな相談・支援体制を充実・ 強化する	37指標
		3. 住民の視点に立った情報提供の仕組み をつくる	16指標
		4. 各種福祉施策・事業の推進と利用者の 権利擁護のための仕組みをつくる	53指標
	基本指標3 地域を支え、推進する人や 組織の担い手づくり	1. 地域福祉を担う人材を育成する	14指標
		2. ボランティア活動・NPO活動等の 活性化を図る	14指標
	基本指標4 地域福祉への理解を深め、 福祉の心を育む環境づくり	1. 人にやさしい地域づくりを進める	47指標
		2. 健康・福祉への理解と行動を促す	31指標

進捗状況

地域福祉計画進捗状況評価基準については、各成果指標の目標値に対する達成度の割合に応じて、A～Dまで評価しています。各評価の達成度は、以下のとおりです。

A評価：達成度 90%以上

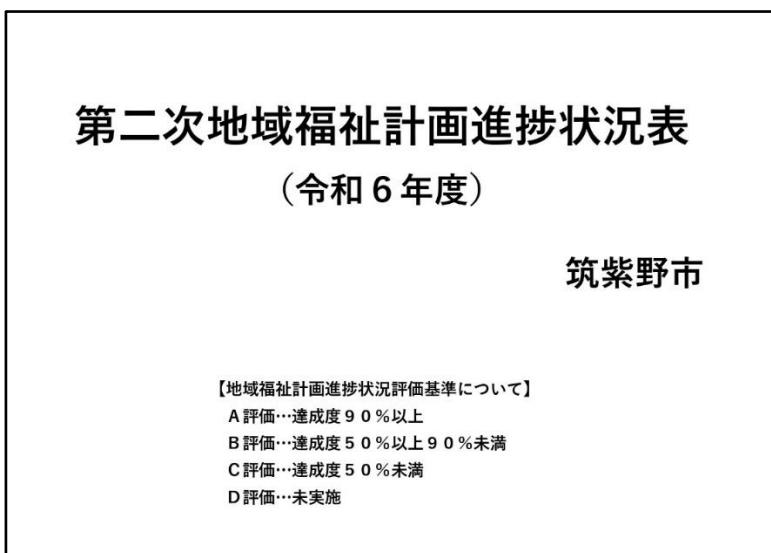
B評価：達成度 50%以上 90%未満

C評価：達成度 50%未満

D評価：未実施

各施策における令和6年度進捗状況については、別紙「筑紫野市第三次地域福祉計画進捗状況表（令和6年度）」に記載しています。その中から、一部抜粋のうえ、令和6年度実績として事業を掲載しております。

「筑紫野市第三次地域福祉計画進捗状況表（令和6年度）」の表紙



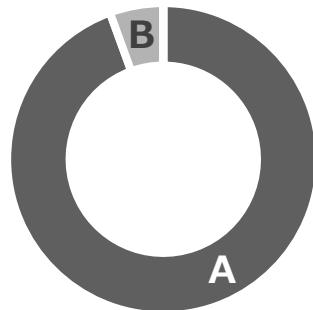
基本目標 1 地域で支えあい、助けあう仕組みづくり

近年、近隣関係の希薄化が進み、かつてあった助け合いや支えあいが十分に機能しなくなっている地域や、住民同士の関わりそのものがほとんどないような地域も増える一方で、地域での支えあいや助けあいの必要性も増加しています。

基本目標 1 では、住民一人ひとりが『孤立させない』『排除しない』という思いを共有し、地域住民同士が出会い、つながるための仕組み、さらに支えあい、助けあうことのできる仕組みづくり形成するため、3つの基本施策に38の成果指標を設け、取り組んでいます。

(各基本施策の進捗状況)

基本施策 1 身近な地域での関わりを豊かにする



達成度	A評価	B評価	C評価	D評価	合計
指標数	17 指標	1 指標	0 指標	0 指標	18 指標
割合	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%	100%

■ A ■ B ■ C ■ D

事業実績例 カミーリヤフェスティバルの実施（健康推進課）

目標値	実績	達成度	評価	実績および成果	課題・方向性
年1回	1回	100%	A	令和6年10月6日(日)に令和6年度カミーリヤフェスティバルを実施した。全26団体、約2,200人の参加があった。	コロナ禍以降初の開催となった。幅広い世代の参加者が増えるよう実行委員会等において内容を検討していく。

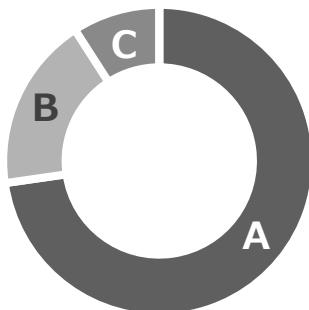
カミーリヤフェスティバルの様子



事業実績例 赤ちゃん訪問での「子育てガイドブック」の配布（こども政策課・こども家庭課）

目標値	実 績	達成度	評 価	実績および成果	課題・方向性
900 件	839 件	93%	A	「子育てガイドブック」を作成し、赤ちゃん訪問（生後 4 ヶ月までの赤ちゃんがいる全戸）で配布した。	今後も継続してイベントや講座等の子育てに関する情報について、発信していく。

基本施策 2 地域の声かけ・見守り活動を推進する



	達成度	A評価	B評価	C評価	D評価	合 計
指標数	8 指標	2 指標	1 指標	0 指標	11 指標	
割 合	72.7%	18.2%	9.1%	0.0%	100%	

■ A ■ B ■ C ■ D

事業実績例 青少年指導員・少年補導員パトロール活動（生涯学習課）

目標値	実 績	達成度	評 価	実績および成果	課題・方向性
500 回	665 回	100%	A	青少年指導員や少年補導員会が各小中学校区を中心に、原則 2・4 金曜日のパトロールを実施した。	地域の人間関係の希薄化が課題となっている状況で、犯罪被害防止や交通安全確保のため、引き続きパトロールの実施等を行っていく。

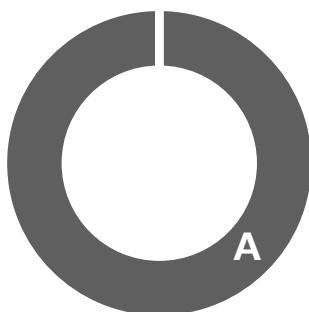
事業実績例 「さり気ない見守りリーフレット」の配布（高齢者支援課）

目標値	実績	達成度	評価	実績および成果	課題・方向性
4,100 枚	3,861 枚	94%	A	敬老の日事業において、高齢者宅を訪問する支援者に対し「さり気ない見守りリーフレット」を配布し活用を依頼した。	各地域コミュニティの実情や特色、主体性を大切にしながら、より効果的に地域での支え合い体制の促進を行う。

さり気ない見守りリーフレット



基本施策3 地域住民の活動拠点の整備と地区間交流を推進する



達成度	A評価	B評価	C評価	D評価	合計
指標数	9 指標	0 指標	0 指標	0 指標	9 指標
割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%

■ A ■ B ■ C ■ D

事業実績例 サロン活動への支援（生活福祉課）

目標値	実績	達成度	評価	実績および成果	課題・方向性
84 サロン	91 サロン	100%	A	筑紫野市社会福祉協議会の「いきいきサロン事業」に対して補助金を交付することで、間接的にサロン活動を支援している。	引き続き支援を行っていく。

地域サロンの様子



事業実績例 公民館の改修・改築（生涯学習課）

目標値	実績	達成度	評価	実績および成果	課題・方向性
11件	11件	100%	A	公民館の改修・改築を行った（全11件、総額15,969千円）。隈・永岡・大門・三地区・宮田町・天神・塔原・筑紫ヶ丘・湯町・美しが丘北・石崎	計画的な改修・改築ができるよう制度の周知に努める。

（第三次計画における今後の方向性）

- 住民の交流・社会参加の機会を生み出すために活動や人のコーディネーター等を通じて、地域や近所とのつながり強化を図ります。また、自治会やシニアクラブ、子ども会等の活動の活性化を図ります。
- 困りごとを抱えた人の早期発見と継続した支援・対応を図るため、様々な主体による見守り活動を促進します。
- 地域の活動拠点や、属性を超えて交流できる居場所の整備を進めます。また、他地区等との情報交流や事業連携を進め、共通する地域課題の解決や地域福祉活動の拡充を図ります。

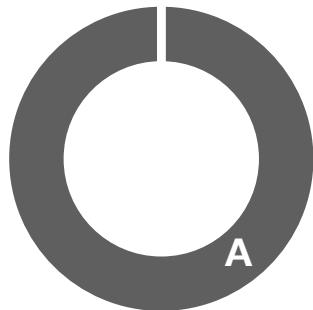
基本目標2 様々なニーズを受け止め、支援するための仕組みづくり

基本目標2では、4つの基本施策の中に117の成果指標を設定し、関係機関・団体等との連携強化や、身近なところでの気軽な相談から専門的な相談まで、福祉ニーズに即した相談体制の整備や情報提供の充実に取り組んでいます。

また、福祉サービスの利用にあたっては、利用者の自己選択と自己決定を基本とし、支援を必要とする人が適切に福祉サービスを利用し、自立した生活が送れるよう、利用者の権利や生活擁護に取り組んでいます。

(各基本施策の進捗状況)

基本施策1 生活課題の発見と把握・対応のための基盤をつくる



達成度	A評価	B評価	C評価	D評価	合計
指標数	11 指標	0 指標	0 指標	0 指標	11 指標
割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%

■ A ■ B ■ C ■ D

事業実績例 新任民生委員への研修会の開催（生活福祉課）

目標値	実績	達成度	評価	実績および成果	課題・方向性
随時	2回	100%	A	不定期に民生委員・児童委員が変更となった場合には、新任委員に対しての研修会を個別に開催した。(研修内容：民生委員活動の概要)	令和7年度は一斉改選を控えており、多数の新任委員が予想されるため、研修の内容等については適切なものであるよう隨時検討していく。

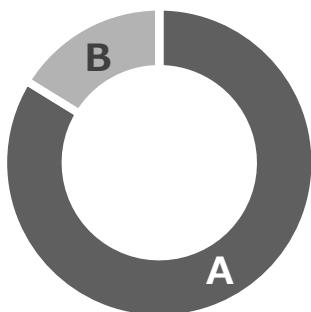
事業実績例 「ちくしの福祉村」公開講座の実施（生活福祉課）

目標値	実 績	達成度	評 価	実績および成果	課題・方向性
年6回	6回	100%	A	「ちくしの福祉村」では、様々な立場の委員を含む運営委員会の意見を反映しテーマを決め、公開講座を6回開催した。	参加者アンケートを参考に、参加者の要望や意見、社会情勢をみながら公開講座等を開催する。

「ちくしの福祉村」公開講座の様子



基本施策2 きめ細やかな相談・支援体制を充実・強化する



	達成度	A評価	B評価	C評価	D評価	合 計
指標数	31 指標	6 指標	0 指標	0 指標	37 指標	
割 合	83.8%	16.2%	0.0%	0.0%	100%	

■ A ■ B ■ C ■ D

事業実績例 こども家庭センターの相談対応（こども家庭課）

目標値	実 績	達成度	評 価	実績および成果	課題・方向性
隨時	延べ 9,954 件	100%	A	令和6年度から設置した「こども家庭センター」を中心に関係課・機関と連携を図り、必要に応じて個別ケース会議等を開催した。	令和6年度から設置した「こども家庭センター」により、児童福祉分野と母子保健分野の更なる連携強化等を図っていく。

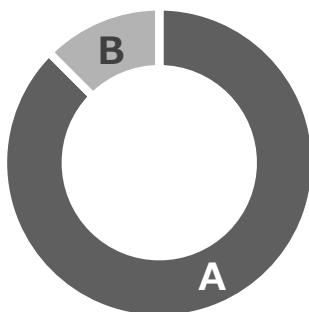
事業実績例 人権の花運動の実施（人権政策・男女共同参画課）

目標値	実 績	達成度	評 価	実績および成果	課題・方向性
年1回	1回	100%	A	人権の花運動は山家小学校で行い、花を育てることで「思いやりの心、人や物を大切に思う心」等を体感でき、人権尊重意識を育む。	今後も引き続き継続していく。

人権の花運動の様子



基本施策3 住民の視点に立った情報提供の仕組みをつくる



	達成度	A評価	B評価	C評価	D評価	合 計
指標数	14 指標	2 指標	0 指標	0 指標	16 指標	
割 合	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	100%	

■ A ■ B ■ C ■ D

事業実績例 情報発信担当者研修の実施（秘書広報課）

目標値	実 績	達成度	評 価	実績および成果	課題・方向性
年1回	1回	100%	A	秘書広報課で作成したマニュアル等を活用し、わかりやすい情報発信について各課の情報発信担当者に研修を行った。	わかりやすい福祉情報の充実のため、今後も情報発信担当者に継続的な指導を行っていく。

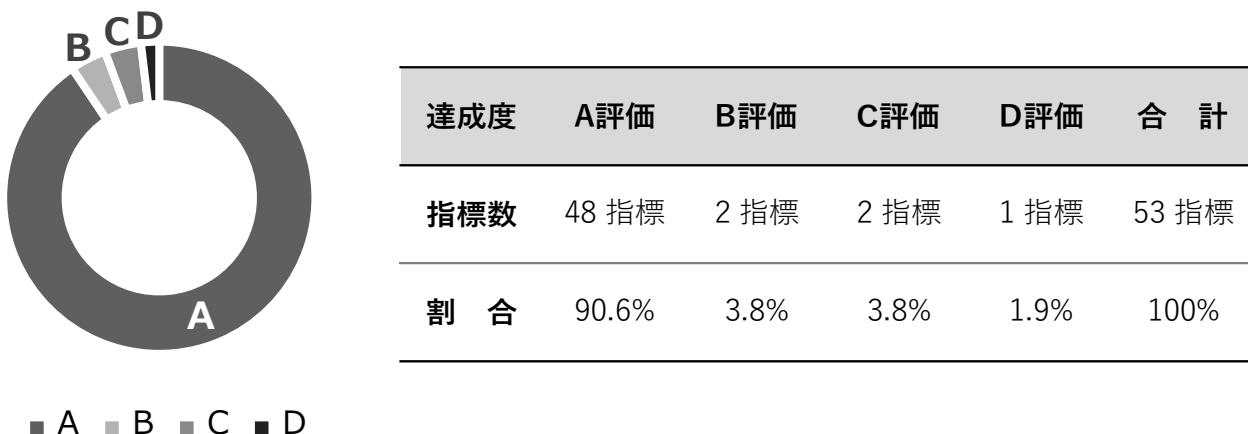
事業実績例 情報紙「もこもこ」の発行（こども政策課・こども家庭課）

目標値	実 績	達成度	評 価	実績および成果	課題・方向性
年6回	6回	100%	A	子育て支援センターだより「もこもこ」を、関係機関に配布した。	今後も利用者の立場に立ち、ニーズに合わせた情報を提供し、子育て講習会に参加できなかった方のために、内容が分かる情報紙の作成を行う。

情報紙「もこもこ」（左から『もこもこ2・3月号』、『もこもこ4・5月号』）



基本施策4 各種福祉施策・事業の推進と利用者の権利擁護のための仕組みをつくる



■ A ■ B ■ C ■ D

事業実績例 障がい者福祉サービス等の利用促進（生活福祉課）

目標値	実 績	達成度	評 価	実績および成果	課題・方向性
随時	延べ 2,272人	100%	A	令和6年3月に策定した第7期筑紫野市障がい福祉計画に基づき、障がい者福祉に関する取り組みを行っている。	本市における障がい者の状況を踏まえて、施策の充実を図るほか、サービスの質の確保・向上に必要な環境整備を行うため、各課との連携を図る。

事業実績例 成年後見制度に関する講演会の開催（生活福祉課）

目標値	実 績	達成度	評 価	実績および成果	課題・方向性
年1回	1回	100%	A	成年後見制度の周知・啓発を目的として、成年後見制度に関する講演会を実施した（参加者72人）。	今後も継続しながら、市民に求められる講演内容となることを目指す。参加者にはアンケートを実施し、今後の講演内容の検討材料とする。

成年後見制度に関する講演会の様子



（第三次計画における今後の方向性）

- 民生委員・児童委員や福祉委員の役割や活動について、地域住民への理解と協力を促すとともに、委員活動に必要な情報や研修機会の提供に努めます。また、課題を抱える人たちを見つけ、解決に向けて積極的に支援できる仕組みづくりを推進します。
- 高齢・障がい・子ども・若者・困窮に関連する相談機関の窓口が、それぞれの支援力の向上に努め、相談支援体制を充実させるだけでなく、どこに相談しても必要な支援につながるよう属性を超えた連携体制を整備します。また、関係機関・団体等との連携により、困りごとを抱えた人を各種相談窓口につなぐ体制を強化します。
- 市民が必要な支援や福祉サービス、相談窓口等に関する必要な情報を的確に入手できるように広報誌やSNSなど様々な媒体を活用し、利用者の立場や特性などに配慮した、わかりやすく、活用しやすい情報の提供を行います。また、情報の内容に応じて、関係機関・団体等との連携により、効果的な情報提供を図ります。
- 健康・福祉関連計画等に基づいて事業を実施し、福祉サービスの提供を行うとともに、複合的な課題を抱えた人の孤立化や制度の狭間に支援を受けることができない人に対し、分野を超えた横断的なサービス提供の推進を図ります。

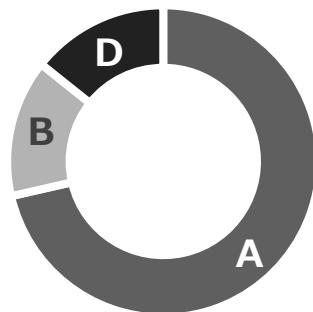
基本目標3 地域を支え、推進する人や組織の担い手づくり

基本目標3では、『参加・参画する』という視点を大切にしながら、住民一人ひとりが地域福祉の担い手として育つていけるような環境づくりを目指すため、2つの基本施策に28の成果指標を設けています。

地域福祉の担い手の育成は、本計画を推進するうえで、重要な課題であり、ボランティアセンターなどの中間支援組織や自治会等、各種団体等と連携・協働し、福祉活動をしようとしている人々の主体的な行動や力を引き出す仕組みづくりや、ボランティア活動等の充実・発展を促すための支援に取り組んでいます。

(各基本施策の進捗状況)

基本施策1 地域福祉を担う多様な人材を育成する



	達成度	A評価	B評価	C評価	D評価	合計
指標数	10 指標	2 指標	0 指標	2 指標	14 指標	
割合	71.4%	14.3%	0.0%	14.3%	100%	

■ A ■ B ■ C ■ D

事業実績例 食生活改善推進員更新講習会の実施（健康推進課）

目標値	実績	達成度	評価	実績および成果	課題・方向性
年6回	14回	100%	A	健康づくりサポーター養成講習会修了者は、それぞれ食生活改善推進員、健康づくり運動サポートとして活動している。	引き続き、人材発掘・育成に努める。 ホームページでの申込、SNSを使用し、広く市民に周知を図っている。

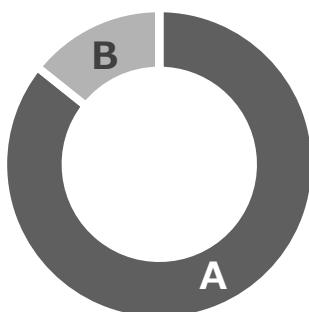
食生活改善推進員活動の様子



事業実績例 地域活動リーダーの発掘・育成（生涯学習課）

目標値	実 績	達成度	評 価	実績および成果	課題・方向性
171 人	171 人	100%	A	自治公民館連絡協議会を通じて、地域活動のリーダーとして期待されるような人材の発掘・育成を継続中。	自治公民館連絡協議会に加え、コミュニティ運営協議会各部会等を通じて、地域活動のリーダーとして期待できる人材の発掘・育成を継続する。

基本施策2 ボランティア活動・NPO活動等の活性化を図る



	達成度	A評価	B評価	C評価	D評価	合 計
指標数	12 指標	2 指標	0 指標	0 指標	14 指標	
割 合	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	100%	

■ A ■ B ■ C ■ D

事業実績例 ボランティア功労者等に対する表彰（生活福祉課）

目標値	実 績	達成度	評 価	実績および成果	課題・方向性
隨時	5 人	100%	A	令和6年度は5名が受賞（県知事表彰1名、県知事感謝状4名）。	今後も、筑紫野市社会福祉協議会や福祉ボランティア連絡協議会と連携して情報発信していく。

事業実績例 男女共同参画プラザ活動登録連絡定例会の実施（人権政策・男女共同参画課）

目標値	実 績	達成度	評 価	実績および成果	課題・方向性
年12回	12回	100%	A	男女共同参画プラザ活動登録団体連絡会の定例会を開催し、団体間の交流や情報の共有により活動活性化を図った。	今後も継続して事業を実施していく。

事業実績例 公民館主事設置補助金等の助成制度の周知（生涯学習課）

目標値	実 績	達成度	評 価	実績および成果	課題・方向性
年3回	3回	100%	A	各地区の自公連総会、市自公連総会、館長主事等研修会、推進大会等において、補助制度について周知を図った。	助成制度の活用促進を図るための周知徹底。活用促進を図るため総会や研修会等で周知を図る。

（第三次計画における今後の方向性）

- 福祉の心の基盤となる人権意識を育成する取り組みを継続するとともに、ボランティア活動に関する様々な情報の収集・提供やボランティア人材の養成を図るなど、地域福祉活動の中核となる人材の発掘と育成に努めます。
- ボランティア活動の効果的な推進を図る取り組みを進めるとともに、活動に必要な情報提供を行うなど、ボランティア団体等への活動支援を行います。

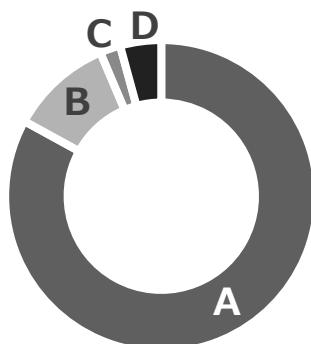
基本目標4 地域福祉への理解を深め、福祉の心を育む環境づくり

基本目標4では、子どもから高齢者まで、地域で生活を共にする全ての住民が、地域福祉の担い手としての自覚を持ち、地域福祉への理解を深め、福祉の心を育んでいくよう、福祉教育や人権教育の推進を図るとともに、バリアフリー化などの推進に取り組んでいます。

それらを推進するため、2つの基本施策の中に、78の成果指標を設定し、福祉理念に基づく行動や生活の営みを地域の中に浸透させていくよう努めています。

(各基本施策の進捗状況)

基本施策1 人にやさしい地域づくりを進める



達成度	A評価	B評価	C評価	D評価	合計
指標数	39 指標	5 指標	1 指標	2 指標	47 指標
割合	83.0%	10.6%	2.1%	4.3%	100%

■ A ■ B ■ C ■ D

事業実績例 人権・同和問題啓発冊子の発行（教育政策課）

目標値	実績	達成度	評価	実績および成果	課題・方向性
解放への一步 43,300部	44,200部	100%	A	人権・同和問題の早期解決及び市民の人権意識高揚のために、3つの人権・同和問題啓発冊子（解放への一步、人権問題特集号、人権作文集「くさび」）を発刊・配布している。	今後も内容の充実を図りながら継続して取り組む。
人権問題特集号 43,500部	44,700部	100%	A		
人権作文集 「くさび」 9,700部	10,000部	100%	A		

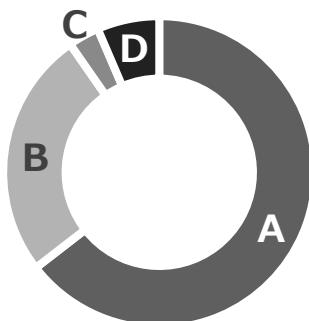
人権・同和問題啓発冊子（左から『解放への一歩』、『人権問題特集号』、『人権作文集「くさび」』）



事業実績例 市職員人権同和問題研修の参加（人事課）

目標値	実績	達成度	評価	実績および成果	課題・方向性
内部研修 1,434 人	1,283 人	89%	B	内部研修については、「同和問題」、「子ども」、「男女共同」、「高齢者」、「障がい者」、「その他の人権」の 6 つのテーマについて 12 回実施した。	職員人権問題研修 3 カ年計画の 3 年目であった。「その他の人権」を含む 6 つのテーマの全てを全職員が受講し、多様な人権問題を学ぶと共に、人権意識向上のための取り組みを継続して実施する。
外部研修 28 人	27 人	96%	A	外部研修については、福岡県人権・同和教育夏期講座など県内外の 4 つの外部研修に参加した。	

基本施策 2 健康・福祉への理解と行動を促す



達成度	A評価	B評価	C評価	D評価	合計
指標数	20 指標	8 指標	1 指標	2 指標	31 指標
割合	64.5%	25.8%	3.2%	6.5%	100%

■ A ■ B ■ C ■ D

事業実績例 市内小中学校における福祉教育の実施（学校教育課）

目標値	実 績	達成度	評 価	実績および成果	課題・方向性
市内 16 校	16 校	100%	A	各小中学校において、体験学習の実施や福祉施設への職場体験などを通じて福祉教育を行い、福祉の心の育成に努めた。	福祉の携わる職員や当事者を講師に招聘するなど、福祉教育の充実に取り組んでいく。

小学校での福祉教育の様子



事業実績例 子ども歯科教室の実施（こども家庭課）

目標値	実 績	達成度	評 価	実績および成果	課題・方向性
年 4 回	4 回	100%	A	子ども歯科教室は、歯科衛生士が地域子育てサロンに出向き子どもの歯科教室を行う。	サロンに参加の子育て中の保護者を対象に、健康新づくりのための歯科教室を今後も継続して実施する。

事業実績例 自殺対策に関する研修への参加（保護課）

目標値	実 績	達成度	評 価	実績および成果	課題・方向性
年 2 回	1 回	50%	B	生活保護相談や暮らしの困りごと相談において、心的不安を取り除くことができるよう自殺対策に関する研修に参加した。	生活保護相談や暮らしの困りごと相談において、心的不安を取り除くことができるよう相談員の資質向上を図る。

(第三次計画における今後の方向性)

- 子どものころから支えあいの心を培っていけるような実践的な福祉教育を推進する一方、地域において生涯を通じた福祉教育を推進し、福祉力の育成・向上を図ります。また、様々な場や機会を活用し、健康づくり等の意識啓発を行うとともに、市民の主体的な実践活動へつながるよう支援します。
- すべての市民にとって不安の少ない地域づくりを進めるために、虐待やDVを防ぐ仕組みづくりや権利擁護の推進等ソフト面の充実を図るとともに、災害時の支援体制の構築や、安全で快適な住環境づくり等ハード面の充実に努めます。